

2023年 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

(2022年度の実施状況と評価を含む)

2023年9月5日

項目	2022年度実施計画	2022年度の実施状況 及び評価	2022年度 計画達成報告	2023年度目標	2023年度 検討目標	達成状況 2024年3月
看護職員と 他職種との分業	① 薬剤部 与薬カードの運用方法を検討し薬剤部とのすみ分けを行う	① 薬剤部 定期薬のセット委託を検討したが、まだ実施には至っていない	・ 人員不足のため病棟配置はできていない ・ 患者安全管理のため薬ホッチキス留めをテープ留めに変更する	① 継続検討	・ 「食前・食間・食直前薬」のマーキング ⇒ 人員不足のため保留	□
	② リハビリ 移転に伴い病棟とリハビリ科の動線が長くなる⇒介護職が実施している患者の移動をリハビリ職員により行う	② リハビリ 全病棟でリハビリ職員が患者様をお連れしている		② 継続維持		
	③ 栄養科 新病院にて夕食時配膳車の上げ下げを栄養科に担当してもらう	③ 栄養科 配膳車の病棟までの引き上げは調理員が行っているが引き下げは病棟職員が行っている		③ 継続検討		
	④ 事務部 コロナ対応においてオンライン面会の取次を行う	④ 事務部 実施できた	・ タブレット面会について ⇒家族対応できている	④ 継続維持	・ 5/8以降の面会段階的解除について ⇒ 健康チェックを1階受付にて対応 ⇒ 面会時間外の洗濯物の受渡し 事務対応後病棟へ連絡	
	⑤ 全コメディカル コロナ対応で洗濯物の引渡しの仲介を行う	⑤ 全コメディカル 実施できた		⑤ 継続維持	・ 5/8以降の面会段階的解除について ⇒ 健康チェックを1階受付にて対応 ⇒ 面会時間外の洗濯物の受渡し 事務対応後病棟へ連絡	
	⑥ カルテ整理の負担軽減 カルテの正しい記載とルールに則った運用の継続	⑥ カルテ整理の負担軽減 退院カルテを各コメディカルが整理をしているが完璧ではない 看護クラークが退院カルテの運搬を行っている		⑥ 継続検討 当院のルールの見直し	・ 「紛失届」様式変更（始末書廃止） ・ 長期入院患者のカルテ整理	
	⑦ 検査科				・ 医療機器の中央管理	
看護部で事務作業補助者の配置	事務作業補助者3名の業務を軌道に乗せ、看護職員の直接業務時間を確保、時間外業務を削減しケアの質を向上させる	看護部での事務作業補助者3名により、メッセージャー・区分入力等行ったがカルテ整理等間接業務はまだできていない	・ 退院カルテの運搬業務を開始した	継続検討	・ 事務作業補助者3名から2名へ減員(7/1～)	□
看護補助者の増員	看護補助者の予算数を確保し維持する 介護福祉士を中心に育成に取り組む 看護職員の安定的な雇用を維持する	ホームページ、ハローワーク広告媒体から看護補助者の応募は増えている一方、退職者も同程度おり予算との乖離はほぼ変わらなかった		引き続き看護補助者の予算数を確保し、維持する 介護福祉士を中心に育成に取り組む 離職防止に努める	・ 看護補助者の派遣雇用開始 ⇒ 4階病棟配置し、業務の仕組みを構築する（外回り業務） ・ パート職員採用する ⇒ 患者直接業務とする	□
妊娠・子育て中の看護職員に対する配慮	妊娠後、夜勤減免の申し出があった職員に対し夜勤を減免	申し出のあった職員に対し夜勤減免を考慮した 夜勤開始時間の変更を配慮した		現状維持		□
多様な勤務形態の導入	直接雇用で充足させられない場合に採用を検討する	介護職員の欠損時には適宜派遣職員を採用した 外来看護師が病棟応援に入っている		現状維持	・ 応援体制の変更 ⇒ 外来看護師の配置を病棟配置へ変更し、外来への応援とする	□
夜勤負担の軽減	人員の確保を継続する	人員の確保は難しく勤務計画表作成の段階で連続勤務にならないように考慮した		引き続き人員の確保を継続する		□